

令和５年度守口市立図書館運営状況についての評価及び今後の運営について

目 標			指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
1 図 書 館 サ ー ビ ス の 充 実	①	蔵書数の拡充と資料の充実	・蔵書数 ・「守口市立図書館資料収集方針」に沿った図書の収集 ・子どもの読書意欲、知的探求心に応える資料の充実 ・高齢者及び障がい者に配慮した図書の充実 ・市民ニーズの高い教養・趣味等の資料の充実	・蔵書数（図書のみ） （R2：187,680冊、R3：195,876冊、R4：206,094、R5：215,798） ・選書（電子図書館含む）に関する研修受講者（5名） ・参考書を含め、蔵書の活性化を意識し、主題を中心に幅広いジャンルを収集。 ・学校連携を意識し、貸出バックのための資料を充実。 ・大活字本やLLブック等を継続して購入。 ・AI、ChatGPT等時代に沿った話題の資料から、市民のニーズも意識した小説や実用書、図書館では定番の文学なども積極的に収集。	・令和５年度末時点での蔵書数は拡充計画を大きく上回っており、今後も引き続き利用者のニーズに合った収集を行われたい。 ・電子図書館を利用したことのない人や電子図書館の存在を知らない人がたくさんいることから、更なるPRに努められたい。 ・電子図書館サービスの拡充を図っていくにあたり、オーディオブックの充実も検討されたい。
	②	資料・情報提供機能の充実	・全体的なレファレンスサービスの充実	・レファレンス記録9件（簡易なものを除く） ・レファレンスに関する研修受講者（2名）	・レファレンス実績が少ないことから、レファレンスサービスの周知について積極的に取り組まれたい。
	③	図書館の効果的活用	・来館者数 ・生涯学習施設の利用者数 ・貸出冊数 ・貸出件数	・来館者数（R2：171,174人、R3：256,696人、R4：307,980、R5：319,808） ・生涯学習施設の利用者数（R2：7,383人、R3：88,248人、R4：33,924、R5：20,661） ・貸出冊数（R2：210,608冊、R3：281,083冊、R4：344,522冊、R5：353,276冊） ・貸出件数（R2：54,347件、R3：65,771件、R4：82,066件、R5：84,892件）	・来館者数や貸出冊数・件数が継続して増加しており、各種イベントの実施やニーズの高い本を選書するなど利用者に寄り添った運営ができている点が評価できる。
2 学 び と 課 題 解 決 を 支 援 す る 図 書 館	④	課題解決支援機能の拡充	・知識・技術の習得に向けた各種講座等の開催 ・子育て、医療・健康づくり等の身近な分野のレファレンスサービスの充実	【知識・技術習得に関連した講座の開催】 ・おはなし会 ステップアップ会講座 ・大人のための節電対策講座 ・初心者のための点字講座～点字を学んで点訳してみよう～ ・初心者向けコーヒーセミナー ・おとなの図書館見学 ・セカンドアカデミー ～人生100年時代の資産運用（基礎講座）～ ～スマートフォン体験講座 基本編！～ ～手話体験講座 “手話で笑顔に”～ ～文学入門講座～ 【子育て、健康づくりに関連した講座の開催】 ・にこにこタイムあかちゃんと楽しむおはなし会 ・図書館で認知症予防～活用しよう電子図書館～ ・育みファミリーコンサート、手づくり楽器作り ・0歳からの音楽あそび♪ ・親子deダンス講座 ・バレエストレッチ講座 ・青空ヨガストレッチ ・Web動画配信『こどもお絵描き動画』	
	⑤	市民の学習活動を支援する機能の拡充	・自習室、自習スペースの運用 ・生涯学習施設の活用	・引き続きマナー向上を促すため、荷物を置いて長時間退席している利用者には、荷物回収のうえ他の利用者への配慮を口頭注意等を行った。 ・空いている貸室を活用し、ゆったりとした空間で学習していただける有料の自習室を運用 【絵本作家を招聘した作品展や関連イベントの継続実施】 ・守口市立図書館3周年記念協働事業 長谷川義史絵本原画展 “だじゃれ むかし むかし 話” 子ども読書活動推進事業 長谷川義史 絵本ライブ ・新鋭絵本作家展Vol.2 Up-and-coming Artists! ・メンドリと赤いてぶくるパネル展 【生涯学習施設を活用した事業の実施】 ・心の印象画家 吉田絵美 個展&ワークショップ ・陶芸ラボ「千支の置物 辰（たつ）を作ろう」 ・守口市立図書館寄席 ・MORIGUCHI BEAT FES（市内で活動するダンス団体の成果発表会）	・絵本作家を招聘してのイベントやニュースポーツの講習会など、多岐にわたるイベントを数多く実施することで市民の生涯学習に寄与している点が評価できる。 ・自習室が満席で使用できないという意見が以前から出ていることから、現状把握を徹底し、時間制限や譲り合って使用することのできる環境づくりなど、運用方法について検討されたい。
	⑥	多様な学習機会と活動の場の提供	・講座やイベント等の開催回数 ・講座やイベント等の参加人数	・講座やイベント等の開催日数 （R2：335日、R3：543日、R4：1,076日、R5：1,338日） ・講座やイベント等の参加人数 （R2：3,953人、R3：10,577人、R4：16,174人、R5：19,122人）	・閲覧席での私語や自習に対する意見が多く寄せられていることから、スタッフも意識しながら定期的な見回りや声がけを徹底されたい。
	⑦	歴史を学び、歴史や文化に触れることができる場の提供	・郷土資料の充実 ・歴史や文化に触れることのできる講座の開催 ・郷土資料展示室の活用	・引き続き地域紙「大阪日日新聞」への定期的な情報提供をすると共に、「大阪日日新聞」「河内新聞」「AGORA」を収集し郷土資料室に配架。 【守口を題材にした朗読劇の上演や歴史講座の開催】 ・守口でハニワ！？～梶第1団地でみつかったハニワについて知ろう～ ・朗読劇「Mの航跡」 ・セカンドアカデミー ～第2回図書館で守口市の歴史を知ろう 淀川と街道～ ・郷土資料展示室を活用し、むかし話を題材とした絵本原画展を開催	・図書館が市民の社会教育・生涯学習・コミュニティ活動の拠点施設であるということを意識し、他施設との連携を更に深められたい。 ・社会教育士や図書館司書の有資格者についての情報を収集することで、ボランティア活動や新しい資格取得者の掘り起こし、有資格者同士の連携につなげられたい。

目 標			指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
3 子 ど も の 読 書 活 動 を 推 進 す る 図 書 館		⑧ 読書のきっかけづくりの充実	・子ども達に対するオリエンテーション、出前授業等の開催回数及び内容 ・おはなし会の開催回数 ・「こども読書の日」、「読書週間」等読書啓発に関するイベント等の開催回数及び内容	[小学生等図書館見学の受入れ回数] (R2：3回、R3：6回、R4：8回、R5：11回) [おはなし会の開催回数] (R2：12回、R3：27回、R4：61回、R5：71回) [読書啓発に関するイベント等の開催回数] (R2：1回) ・読書週間特別企画～もりちゃん&ぐっちゃんとアコちゃんの宝探しラリー～ (R3：4 回) ・子ども読書活動推進事業 守口市立図書館一周年記念事業 気骨の作家 田島征彦が染め上げる！-絵本原画と型染の世界-展 ・岡田よしとか新作絵本原画展 &Painting exhibition of roots ・読書週間イベント 1行図書館 ・読書週間イベント わたしの「推し」本 (R4 4回) ・子ども読書活動推進事業 New Year特別企画 守口市立図書館×tupera tupera絵本ライブ ・読書週間特別企画 ハッピークリエイターたかいよしかず絵本作品展～夢をかなえるチカラ～ ・「こどもの読書週間イベント よんでピンゴ」 ・「目次の1行」図書館 (R5：3回) ・子ども読書活動推進事業 長谷川義史 絵本ライブ ・セカンドアカデミー～文学入門講座～（読書週間イベント） ・知的書評合戦☆ビブリオバトル	・小学生の図書館見学について、錦小学校の受け入れも実施しており、図書館の近くの校区だけでなく遠方の校区も関心を持っていただいたということは評価できる。引き続き、学校からの問合せ等があった場合は、積極的に受入れを実施されたい。 ・中学生の職場体験について、子どもたちが図書館や読書に関心を持つきっかけとなり、また、中学生時期の体験は、将来の職業としての意識づけにもつながると考えられることから、広く受入れを実施されたい。 ・図書館に対しての声を発しない方にも図書館や読書に興味を持ってもらうため、図書館や行政側からの仕掛けを工夫するなど、図書館のPRについて積極的に取り組まれたい。 ・学校司書講習会が未実施になっている。学校とのコミュニケーションはとることができていることから、講習会や出前事業の実施に向けて、引き続き学校連携を推進されたい。
		⑨ 読書環境の充実	・学校図書館との連携 ・図書館司書と司書教諭や学校司書等との連携 ・中・高生に対して、本の魅力を伝え合えるイベントの開催回数及び内容	・学校司書講習会 (R2：1回、R3：0回、R4：0回、R5：0回) ・学校図書館教育担当者会議への参加。団体貸出、貸出バック、図書館見学受入、出前授業について案内。 ・中高生に向けたYA書架の充実と定期的な展示の実施。 ・中高生向けのテーマ展示体験イベント実施。	
4 効 果 的 ・ 効 率 的 な 運 営 体 制 の 図 書 館		⑩ 効果的・効率的な図書館運営	・事業計画、事業報告 ・収支計画、収支報告 ・業務マニュアルの整備・見直し ・財源確保や経費節減につながる取組		・収支が大きく赤字となっていることから、クラウドファンディングの実施など、民間活力の活用について検討されたい。
		⑪ 点検評価の徹底及び公表	・利用者アンケートの実施と公開	・利用者アンケートの実施回数 (R2：4回、R3：4回、R4：4回、R5：7回) ※3周年イベント内で3回実施	・利用者アンケートの実施方法を工夫したことで、回収数が大幅に増加したことは評価できる。利用者アンケートは、運営状況の評価基準にもなることから、更なる電子化の推進など、引き続き回収数の確保に努められたい。
		⑫ 図書館職員の人材育成	・職員の組織内研修の実施回数及び内容 ・職員の派遣研修の件数及び内容	・職員の組織内研修の実施回数 (R2：44回、R3：51回、R4：53回、R5：58回) 内容：選書、レファレンス、障がい者サービス、児童サービス、人権、コンプライアンス、危険予測、情報セキュリティ等 ・職員の派遣研修の件数 (R2：2回、R3：4回、R4：9回、R5：5回) 主な内容：障がい者サービス、学校図書館、児童サービス等	・アンケートの結果及び対応状況等については、定期的に図書館内及びホームページにおいて公表されたい。 ・アンケートで出されている意見に対して、引き続き満足度の向上につながる取り組みを実施されたい。 ・アンケート結果を分析し、総合満足度に大きな影響を及ぼす項目の内、実際の評価が低い項目について、資源を積極的に投入するなど重点的に改善に取り組まれたい。
		⑬ ボランティアの育成及び活動の支援	・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 ・ボランティアとの協働事業数及び内容	・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 (R2：0回、R3：0回、R4：2回、R5：4回) ・ボランティアとの協働事業数 (R2：0回、R3：0回、R4：3回、R5：4回) 主な内容：ニュースポーツイベント、大日公園活用イベント、点訳講座等の実施。	・市民ボランティアが有機的につながることのできる環境を整備するなど、ボランティア活動の活性化に向けた取り組みを実施されたい。 ・駐輪場の運用を変更する必要が生じた場合は、現在の利用状況を鑑みつつ、来館者が利用しやすい運用方法を検討されたい。
そ の 他		⑭ その他			